

Contents

■特集 平成22年度決算報告	3～7P
■地域福祉計画策定に向けて	8・9P
■高校再編	10P
■原子力の安全対策・交通安全	11P
■福祉のおしらせ／環境など	12・13P
■ほつとにゆ～す	14・15P
■人権／みどりいっぱいなど	16・17P
■市政の動き／座ぶとん会議、市長コラム	18・19P
■入札／各種催し	20・21P
■健康	22・23P
■多文化共生、消費生活相談／文化財	24・25P
■インフォメーション	26・27P
■裏表紙 ながはま百景、SMILE	28P

今月の表紙

長浜きもの大學2011 和楽衣～ワライ・笑～

表紙の写真は、11月19日（土）に中心市街地一帯で開催された「長浜きもの大學2011」の一講座、万華鏡教室でのひとコマです。

この長浜きもの大學は、10月の長浜きもの大園遊会と並び長浜が誇る和装イベントで、男女問わず、幅広い年齢の人に着物姿で、いろいろな講座を楽しんでもらおうと開かれているものです。

今年は、ものづくりから長浜の歴史や文化を学ぶものまで29の講座が用意されており、参加者はその中から事前に選んだ2つの講座を、午前と午後に分けて満喫していました。

平成22年度 決算報告

ここでは、平成22年度決算を通し、皆さんが納めてくださった税金がどのように使われたのかをお知らせします。今回は平成22年1月1日の合併後、初めての通年決算となり、その規模は過去最大になりました。

合併後の市全体の一体感醸成や安全安心なまちづくりなど、市民の皆さんの日常生活を支え、その質を高めるような事業や、観光振興など新長浜市の活力を高める事業に重点を置いて力を注いでまいりました。

12万の人口を有する県内屈指の都市となった長浜市。その自治体規模にふさわしい先進的で安心感のある市政運営をめざし、市民との協働による地域づくり、賑わいを生む産業と成長産業の誘致・育成を図りつつ、しっかりとした行財政基盤をつくり、「対話と実行」で新長浜市をつくるための事業を今後展開していきます。

会計の区分

地方公共団体の事務は多岐にわたっており、一つの会計ですべてを処理するのは困難です。そのため、一般会計と特別会計に区分し、お金の流れをわかりやすくしています。

一般会計

福祉・教育・道路整備など、地方公共団体がすべき基本的な事業を経理する会計です。収益をもたらすものではないので、主に市税でまかなわれています。

特別会計

特定の事業を行うための会計です。長浜市には、国民健康保険事業、公共下水道事業など全部で13の特別会計があります。

企業会計

公営企業の会計です。長浜市では、病院事業、水道事業、介護老人保健施設事業を企業会計で運営しています。

一般会計

※歳入・歳出とは…地方公共団体の一会計年度における収入・支出

歳入総額
657億4,880万円
前年度比
16億2,293万円 (2.6%) 増

決算規模は、歳入657.5億円、歳出650.5億円となり、繰り越し財源1.8億円を除いた後の実質収支は5.1億円の黒字となりました。

市民1人あたりのサービス
52万円
平成23年4月1日現在の人口(125,418人)で算出

歳出総額
650億5,366万円
前年度比
36億4,494万円 (6.0%) 増

